

平成31年度 不祥事防止対策に係る研修計画

海田町立海田西小学校

【不祥事根絶に向けた本校の決意】

海田西小学校の職員は、全力で、チームで、子どもたちを育てます。

- 1 (使命) 私たちは、子どもたちを守り育てます。
- 2 (遵法) 私たちは、法令を遵守します。
- 3 (公正) 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 (公開) 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	研修等計画	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事に対する当事者意識が十分とはいえない。	○日常的に、自分のヒヤリハットが語れる、風通しのよさをもつ。 ○「机の上を整理整頓する」「時間を守る」「職員室での会話には十分配慮する」など、すぐに実行可能な事項を全教職員で徹底する。	○記者発表資料や新聞記事等を活用し、タイムリーな指導・注意喚起を繰り返し行っていく。 ○定期的に机上等を整頓する日を設定し整理整頓に努めるなど、できることを徹底する。 ○外部からの侵入者に備えてドアや引き出しを開放したままにしないなど、当たり前のことを実践する。	○服務研修計画に沿って研修を計画的に実施する。 ○職朝、暮会等でタイムリーに服務研修を行う。	○教職員用にチェックリストを学期に1回程度行う。 ○面談時のヒアリング。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止は学校全体(組織)で取り組むという意識が十分とはいえない。	○服務研修を職員が担当し、不祥事防止を自分ごととして捉え、職員室風土を高める。 ○本校の方針や取組目標・行動目標を全教職員で共有する。 ○不祥事を起こさず、教育に全力を注ぐ学校風土・文化の確立をめざす。	○不祥事根絶に向けた決意表明カードを全教職員で再度確認する。(職員室掲示と常時携帯) ○定期的に不祥事防止委員会を開き、教職員から情報を吸い上げ、未然防止の取組を主体的に考える機会を持つ。 ○不祥事防止委員会が出た課題を職員に周知し、情報共有する。	○不祥事防止委員会を月に1回は行う。	○毎月実施している不祥事防止委員会で、取組の振り返りを行う。 ○校内の状況把握を行い、未然防止につなげる。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」や相談日について学校だより等で周知しているが、認知度が低い。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」や相談日を繰り返し周知し、いつでも相談を受け入れる体制をつくる。	○学校だより、ホームページで保護者等に繰り返し周知するとともに、担当教職員を明記した相談窓口のポスターを校内に掲示する。また、いつでも相談できることも保護者に繰り返し周知する。 ○アンケート等により、実態把握に努め、未然防止と早期解決を図る。 ○日常から小さなことでも報告・連絡・相談を行い、チームで対応する。	○定期的に窓口を周知する。 ○定期的に実態把握をする。 ○相談に対する対応の仕方等について共通理解を図る。	○学期に1回、児童・保護者を対象にアンケートを実施し、全児童と面談をする。